

新・東の風

令和2年度
3月号

コロナウィルス感染症拡大防止の観点から、1年前の2月29日（土）1回目の学校休業が始まりました。1年経ってもコロナウィルス感染症の終息は見られません。3月7日までの緊急事態宣言が大阪府において1週間早く解除されましたが、まだまだ油断はできません。そんな中での令和2年度も3月に入り、残りわずかとなりました。

新しい年度をむかえるにあたり、また、3年生は新しいステージに向かうにあたり、今一度各自が今を冷静に見つめなおし、修正する時間にしてください。そして、新しい清々しい気持ちで新しい4月をむかえましょう。

校長先生も、東生野中学校の学校運営について、この1年を振り返ってみます。

皆さんは、一万円札でおなじみの福沢諭吉を知っていますね。ご承知のとおり、江戸時代の幕末から明治時代にかけて活躍した人です。東京にある慶應義塾大学を作った人としても知られています。

その福沢諭吉はたくさんの名言を残した人物です。「ペンは剣よりも強し」、「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず。」などありますが、慶應義塾を作ったときに、生徒に伝えた言葉があります。

学校で一番「楽しい」ことは、好きな教科を持つことである。

学校で一番「さみしい」ことは、注意してくれる友だちのいないことである。

学校で一番「みじめな」ことは、規則を破っても気にならないことである。

学校で一番「醜（みにく）い」ことは、授業の邪魔（じゃま）をすることである。

学校で一番「美しい」ことは、落ちていたゴミを拾うことである。

皆さんはこの言葉を聞いて、どう思いますか。160年ほど前の遠い昔の言葉です。現在は科学の進歩で、ロボットやAIが主役となる時代で、おおかたの生徒が進歩したスマホで様々な情報を得て、スマホで遊んでいます。使い方によっては、非常に便利なツールであり、無くてはならないものになっているのが現状です。そんな現在において、学校も新しい学校生活へ変わってはきていますが、無くしてならないものもあります。それは、学校への思いです。

東生野中学生全員が、この言葉に共感できるならば、校長先生は嬉しいです。そして、実行していける生徒が多ければ多いほど、東生野中学校は発展していくだろうし、君たちの心にプライド（自尊心）が生まれます。この言葉に共感が持てるような生徒を一人でも多く育てるようにしていきたいです。